

チョークで 犬のフン放置防止

 5.11
tue

三国が丘1区で取り組んでいる「イエローチョーク作戦」が、TVQ九州放送から取材を受けました。

この取組は、飼い犬のフン放置防止を目的に行うもので、犬のフンを黄色のチョークでマーキングし、発見した日時を書くことで、飼い主に警告をすることができます。

三国が丘1区は、市内でも特に精力的に取り組んでおり、田中区長は「取組を始めてから件数が減った。今後も継続していきたい」と話しました。

★チョークは、市生活環境課で配布しています。

☎生活環境課環境係(南別館1階) ☎72-2111



中学生が 地域の人と清掃活動

 5.8
sat

小郡中学校の生徒と地域の皆さんで清掃活動をする「小郡中学校クリーン大作戦」が行われました。市内12カ所の公園などを手分けして清掃した生徒たちは、活動後達成感にあふれた顔をしていました。

参加した地域の方は、「近所間の交流が減っている中なので、このような活動は大切に続けたい」と話しました。生徒も「この活動で、地域の人と挨拶をするような仲になれた」と嬉しそうに話していました。



聖火リレー・トーチキスで思いをつなぐ

 5.14
fri

豊増三枝子さん(津古)と内野博己さん(古飯)が、それぞれ佐賀県での聖火リレー・福岡県での聖火トーチキスを務めたことを、市長に報告しました。

豊増さんは、抗がん剤で髪に悩むがん患者のために、タオル地で作ったタオル帽子を届ける「タオル帽子の会」を平成24年に立上げ。令和2年に、佐賀県での活動を顕彰する「佐賀さいう表彰」を受賞しています。

内野さんは、中学から陸上競技を始め、50歳の時に視力が狭くなってゆく難病を発症。それでも諦めずに陸上を続け、平成29年の全国障害者スポーツ大会の1500mと200mの40歳以上の部で優勝。平成30年からは視覚障がい者と健常者が一緒に走る「おごおり天の川ふれあいマラソン」を主宰しています。

二人は「聖火リレー・トーチキスは、皆さんそれぞれが思いを持って、つないでいくもの。それをつないでいく役割を担ったことは、責任感を感じたと同時に嬉しかった」と話しました。



豊増三枝子さん

かみしめて聖火リレーを走ろうと思っていたが、いざ走ってみると、あっという間の200メートルだった。

私が走り、これまでの活動も紹介できたことで、今後もがんばろうと思っている。

内野博己さん

福岡県ではトーチキスとして、聖火リレーの伴走予定だった娘と実施できて嬉しかった。

おごおり天の川ふれあいマラソンを主宰しているので、コロナが収束したら、また開催していきたい。